



Japan Arts Foundation

公益財団法人 日本文化藝術財団

平成 29 年度 『日本文化藝術奨学金』 応募要項

応募期間：平成 29 年 6 月 1 日（木）～ 6 月 11 日（日）

■趣旨

公益財団法人日本文化藝術財団は、日本の伝統文化および現代芸術の保護、育成及び振興を図るとともに、日本の文化・芸術の普及向上にこれまで貢献してまいりました。その取組みの一つとして、育英事業を実施しており、芸術系大学に就学する学生に対し「日本文化藝術奨学金」「加藤定奨学金」の 2 種の奨学金給付を行っています。この「日本文化藝術奨学金」は対象を大学院生のみとし、優れた技量・才能・将来性を評価し、支援しています。真摯に芸術に取り組み、将来の日本の文化・芸術の担い手となるであろう学生からの積極的な応募を期待しています。

※学部生については経済的支援を目的とする「加藤定奨学金」があります。

■選考方法

応募用紙、推薦書、活動実績を示す資料を基に、選考委員会において審査し、理事会にて決定します。

■募集人数・奨学金

6 名 奨学金 50 万円／1 年間（平成 30 年 2 月、7 月の 2 回にわけて給付）

※平成 30 年 2 月に開催の授与式（明治記念館/東京都港区）に出席していただきます。

交通費につきましては当財団で負担します。

■対象

次の条件を充たし、文化・芸術の分野で将来にわたり活動が期待され、才能・可能性が認められる者

1. 国内の芸術系大学の大学院に就学しており、かつ次年度在籍予定者であること

2. 学業成績、生活態度共に優秀で、健康な学生であること

※ 当奨学金は他の奨学金との重複受給をみとめます。ただし、現在受給または申請中の他の奨学金で重複受給をみとめていない場合は、受給することができません。

※ 対象の大学は、国内の芸術系の大学・大学院で実技部門を設けている大学とする。

ただし、音楽部門は除く。

➤ 対象となる芸術系大学 ※下記にない芸術系大学に在籍の場合はお問合せください。

愛知県立美術大学	大阪芸術大学	沖縄県立芸術大学	金沢美術工芸大学
京都工芸繊維大学	京都嵯峨芸術大学	京都市立芸術大学	京都精華大学
京都造形芸術大学	神戸芸術工科大学	情報科学芸術大学院大学	女子美術大学
多摩美術大学	東京芸術大学	東京工芸大学	東京造形大学
東北芸術工科大学	長岡造形大学	名古屋学芸大学	名古屋芸術大学
名古屋造形大学	武蔵野美術大学		

➤ 上記以外の指定校 ※下記大学の芸術分野は対象とします。

筑波大学 日本大学 広島市立大学

■報告義務

奨学金の用途については一切問いません。

修了時に報告書を提出していただきます。

■応募受付期間

平成 29 年 6 月 1 日（木）～ 平成 29 年 6 月 11 日（日）【当日消印有効】

■応募方法

規定の出願用紙①～⑤に必要な事項を記入し、資料を作成のうえ、指定された添付書類とともに郵送または宅配便にて提出してください。提出先は募集要項の最後に記載しております。

※ 応募書類は日本語で作成してください。

※ 送付用の封筒または送り状に「奨学金願書在中」とご記入ください。

※ 提出書類に不備があった場合は、選考対象外となります。

<提出書類>

□ 出願用紙① 奨学金願書

すべての項目について記入してください。

[活動実績] 欄には作品発表、研究発表、受賞歴等を時系列で記入し、欄内に収まらない場合は、主たる活動についてのみ記載し、全活動実績についてはポートフォリオ等で提示してください。

□ 出願用紙② 出願理由・計画書

出願理由および今後の活動計画を記入してください。

特に、制作・研究・発表などについての考えや、将来の展望について具体的に記入してください。

困窮等経済的事由、奨学金の用途については選考対象とならないため記載しないでください。

□ 出願用紙③ 制作・研究資料

制作系の場合は作品または作品発表時の様子がわかる写真(1～2点)および詳細(サイズ・素材・制作年月・コンセプト)、研究系の場合は論文の要約(800字程度にまとめたもの)等、制作活動・研究活動がわかる資料を用意してください。

資料は必ず枠内に貼付してください。複数枚を重ねて貼付、枠外にはみ出して貼付されている場合は、無効となります。

□ 出願用紙④ 推薦書

在学中の学校の研究科専任担当教員に指定の用紙への記入(自筆で署名)を依頼してください。任意の用紙(大学が用意した書式等)での提出は無効となります。

□ 出願用紙⑤ 活動資料指定表紙

用紙に記載のとおり資料を作成してください。提出できる資料は資料の種類に関わらず3点までとなります。(例)ポートフォリオ2点+論文1点=3点

出願用紙⑤で作成した資料は返却します。 ※返送料は当財団負担

ただし受給決定者の提出資料は、当財団資料として提供していただきます。

<添付書類>

□ 在学証明書

在学中の学校の発行するもの

□ 成績証明書

在学中の学校の発行する最新のもの

ただし1学年に在籍の場合は、最終在学期が発行する最新のもの

応募書類は日本文化芸術財団WEBサイトよりご請求ください。

書式のダウンロードに必要なURL、郵送での書類請求についてご案内します。

<http://jp-artsfdn.org/scholarship/jpartsfdn/>

ダウンロードが出来ない場合、または郵送をご希望の場合は、メールまたはFAX・電話での資料請求も受け付けます。

■結果発表

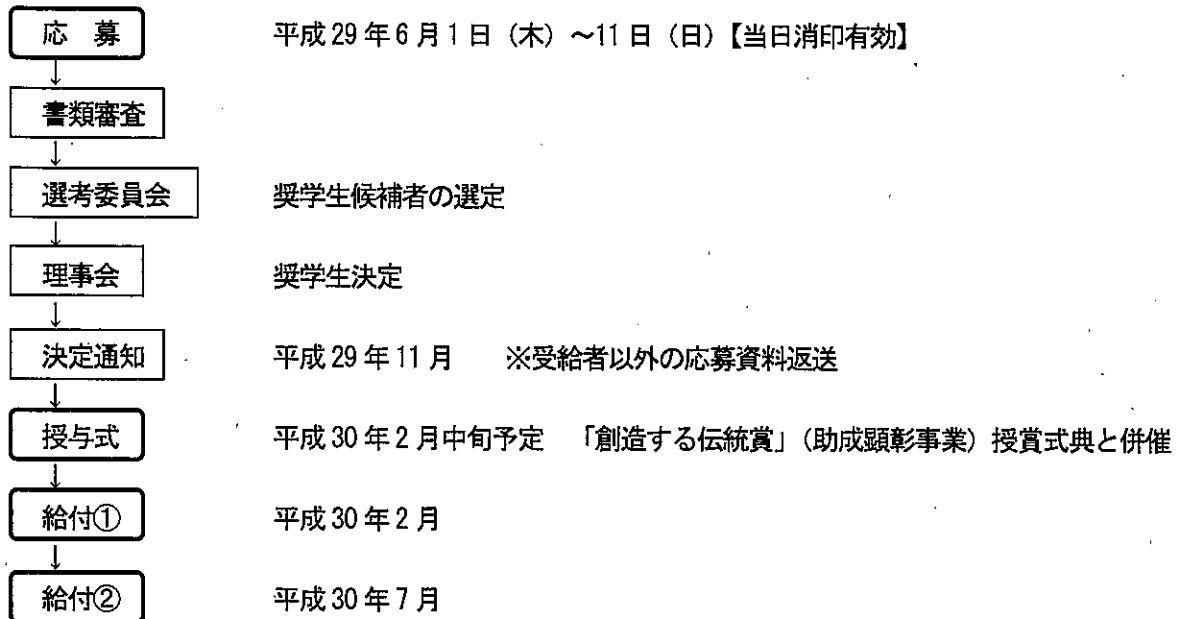
平成 29 年 11 月

選考結果は応募者本人に対して電話および文書で通知します。(在学校・推薦教員への通知はしません)
選考結果の理由に対するお問合せには応じかねますのでご了承ください。

■個人情報について

当財団は、本育英事業の応募により取得した個人情報を、奨学生選考の目的で利用し、この目的に必要な範囲を超えて利用せず、また当財団の委員および役員以外の第三者に提供いたしません。

■応募から給付までの流れ



提出前に確認を！

不備がある場合は出願が無効となります。

わからないことがあれば、必ず裏面の問い合わせ先へ連絡し、書類を準備してください。

出願用紙①~④

⇒ 指定の書式で用意できていますか？

⇒ 枠内からはみ出していたり、2 枚以上の重ね貼りはしていませんか？

出願用紙⑤

⇒ 活動資料は 3 点以内

⇒ 指定の方法で作成できていますか？

在学証明書

成績証明書

■奨学金選考委員

天野 喜孝	イラストレーター
木村 博昭	建築家／京都工芸繊維大学教授
寺 脇 研	映画・落語評論家／(特非) ジャパン・フィルムコミッション理事長
成田 宏紀	(社) 国際芸術文化振興会理事兼事務局長
原 高史	現代美術家／東北芸術工科大学准教授
藤本 由紀夫	現代芸術家／京都造形芸術大学教授

(敬称略 五十音順)

□専門委員 ※今年度選考委員の専門外の分野からの応募の場合、専門委員に意見を求めることがあります。

尼崎 博正	農学博士／京都造形芸術大学教授
葛西 聖司	アナウンサー／古典芸能解説者
柏木 博	デザイン評論家／武蔵野美術大学教授
片岡 真実	森美術館チーフ・キュレーター
金澤 毅	美術評論家／成安造形大学名誉教授
金子 賢治	茨城県陶芸美術館館長
唐澤 昌宏	東京国立近代美術館工芸課長
菅野 由弘	作曲家／早稲田大学教授
倉方 俊輔	建築史家／大阪市立大学准教授
新谷 尚紀	社会学博士／国立歴史民俗博物館名誉教授
中村 真規	演芸プロデューサー／大有企画社長
根岸 吉太郎	映画監督／東北芸術工科大学学長
花光 潤子	プロデューサー／NPO 法人魁文舎理事長
古山 正雄	国立大学法人京都工芸繊維大学学長
村山 明	重要無形文化財(木工芸)保持者／日本工芸会参与
茂手木 潔子	日本音楽研究家／聖徳大学教授
山本 豊津	株式会社東京画廊代表取締役社長

(敬称略 五十音順)

■提出／問い合わせ先

公益財団法人 日本文化藝術財団

〒160-0012 東京都新宿区南元町 13-7 (TEL) 03-5269-0037 (FAX) 03-5363-4837

(URL) <http://jp-artsfdn.org> (Mail) jimukyoku@jp-artsfdn.org

日本文化藝術奨学金 出願用紙① 奨学金願書

平成 年 月 日

フリガナ						本人写真 (4cm×3cm以上)			
氏名									
生年月日	(西暦)	年	月	日	(2017/6/1現在 満 歳)				
性別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女	課程	<input type="checkbox"/> 修士	<input type="checkbox"/> 博士			修了予定年度	平成 年度
大学名					年次				
研究科 (研究院)			専攻 (部門)			研究室 (分野)			
本人 連絡先	現住所	〒							
	電話				携帯電話				
	E-mail								
その他 連絡先 (実家等)	〒								
	電話				FAX				
学歴 および 職歴	※入学、卒業、休学、転学、退学、予備校、自宅研修等を含んで記入のこと								
	年	月					高等学校卒業 / 大学入学資格検定合格		
	年	月							
	年	月							
	年	月							
	年	月							
	年	月							
活動実績 ※作品発表 や受賞等	※年月を記入したうえで、活動内容を明記 (例)〇〇年〇月 個展「XXXXXX」(△△ギャラリー)								

日本文化藝術奨学金 出願用紙② 出願理由・計画書

フリガナ	
氏名	

●制作、研究のテーマ

--

●出願理由および今後の活動計画

--

日本文化藝術奨学金 出願用紙③ 制作・研究資料

フリガナ	
氏名	

●作品または論文の要約

作品(1~2点)の写真および詳細(サイズ、素材、制作年月、コンセプト)、または論文の要約(800字程度)等、研究・制作活動のわかる資料を枠内に貼り付けてください。複数枚を重ねて貼付、枠外にはみ出して貼付られている場合は無効となりますのでご注意ください。

日本文化藝術奨学金 出願用紙④ 推薦書

●奨学金申請者

フリガナ	
氏名	

●推薦者

フリガナ		所属大学名称	
氏名		役職名	
		申請者との関係	
所属大学 連絡先	〒		
	電話		FAX

公益財団法人 日本文化藝術財団

理事長 徳山 豊 殿

平成 年 月 日

私は上記の学生が貴財団の奨学生として相応しいものとして推薦いたします。

●推薦事由

応募者の才能・可能性についての具体的な評価をご記入ください。(別紙貼付可)

--

日本文化藝術奨学金 出願用紙⑤ 活動資料指定表紙

フリガナ	
氏名	

提出資料総数	
--------	--

活動資料は全部で3点まで提出できます。下記要領にしたがい、1資料につき1枚、この指定表紙をつけて作成してください。用紙が足りない場合はコピーして使用してください。

活動資料作成要領

※該当する資料にチェックをいれてください。本用紙右上の「提出資料総数」に総数を必ずご記入ください。

	<p>【ポートフォリオ】 画像資料、誌紙掲載評論等</p> <p>※書籍・パンフレット等の印刷物の提出は認めません。</p> <p style="padding-left: 20px;">内容、発行年、部数等の詳細情報をポートフォリオにまとめてください</p>
チェック <input type="checkbox"/>	<p>◆これまでの応募者自身の作品20点までを、</p> <p>1ページに1作品、または見開きで1作品としてA4サイズのポケットファイル1冊にまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任意のA4サイズの内紙を台紙とする ・各作品には作品タイトル、サイズ、素材、制作年月を明記する ・作品コンセプトや解説の記入は任意とする <p>※1作品の情報量が多く上記での作成が難しい場合は、1冊20ページを目途に作成してください</p> <p>◆作成したファイルの表紙に本用紙を貼付（テープ等ではがれないよう固定）</p>

	<p>【論文・文字作品等】 長文資料</p>
チェック <input type="checkbox"/>	<p>◆任意のA4サイズの内紙10枚以内に印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字数、用紙方向、書字方向は自由 ・10枚以内に収まらない場合は、要約または特に注目すべき個所の抜粋とする ・特に注目すべき個所がある場合は、マーカーまたは附箋で示すこと <p>◆本用紙を表紙にし、左上1か所をホチキスでとめる</p>

	<p>【DVD】 映像資料</p> <p>※DVD以外のメディアでの提出は資料として認めません</p> <p>※DVDでの提出は映像・パフォーミングアーツ等、ポートフォリオで判断できない分野に限ります</p>
チェック <input type="checkbox"/>	<p>◆DVD1枚につき2作品まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注目すべき映像が10分を超える場合は10分以内に編集、または注目すべきチャプターを下記記入欄に明記すること <p>◆市販のDVD用不織布ケースに収納し、本用紙裏側に貼付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本用紙1枚につき、DVD1枚とする <p>◆本用紙1枚ごとにA4サイズのクリアフォルダーに入れる</p>

DVD詳細 注目すべきチャプター	総収録時間 ()
タイトル：	チャプター：